

2021年度 決算報告

2022年7月15日、第173回組合会において2021年度事業報告ならびに収支決算が承認されました。

- **義務的経費（法定給付費+納付金）に保険料の101.56%を支出**
- **保険給付費、納付金が大幅に増加、経常収支で約17億円の赤字に**

健康保険

その他
22億2,200万円

別途積立金の取り崩し10億円、調整保険料3億1,300万円、前年度からの繰越金6億4,000万円等。

その他経常収入
3億3,200万円

前年度比
-3.64%

保険料
149億300万円

経常収入合計
152億3,500万円

経常支出合計
169億2,600万円

収入
174億9,700万円

支出
172億2,500万円

約2億7,200万円の黒字
経常収支は16億9,100万円の赤字

財政調整事業拠出金、他
2億9,900万円

財政調整事業拠出金とは、高額医療の発生および財政窮乏組合に対し健保連が助成を行うための、調整保険料を財源とする拠出金。

その他経常支出
3億1,000万円

保健事業費
12億2,200万円

健診・特定保健指導などの疾病予防事業をはじめとする、健康管理・健康づくりのための費用。

前年度比
+10.60%

納付金
62億4,800万円

国の高齢者医療制度へ拠出した負担金。

前年度比
+12.80%

保険給付費
91億4,600万円

法定給付費やIBM健保組合独自の付加給付など。

※四捨五入により
差異があります。

繰入金
1億円

繰越金
1億5,900万円

介護保険収入
24億200万円

収入
26億6,200万円

介護保険料還付金
400万円

介護保険

介護納付金
26億1,200万円

支出
26億1,600万円

※100万円未満四捨五入

2021年度に実施した主な事業

1. 適用・給付事業

- ①医療費通知による保険給付適正化 ②ジェネリック医薬品の利用促進 ③重複・頻回受診者に対する啓蒙
- ④レセプト点検業務 ⑤傷病手当金の適正な支給 ⑥柔道整復療養費の適正化 ⑦被扶養者資格確認調査の実施

2. 保健事業

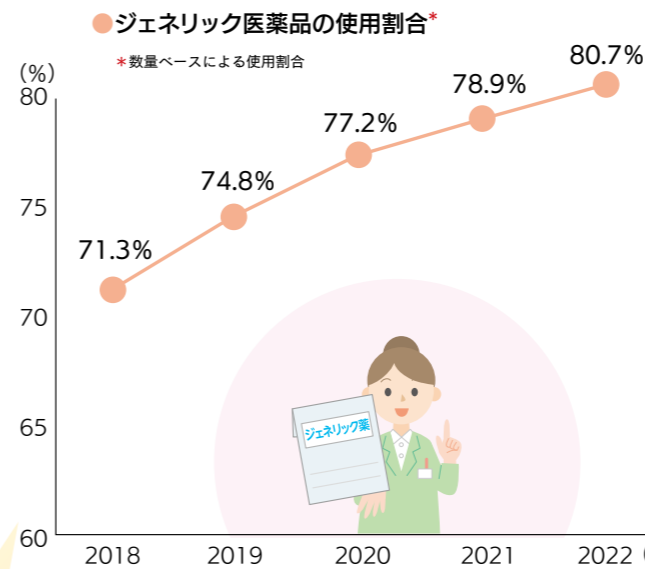
- ①データヘルス計画の実行・評価（6年計画の4年目） ②特定健診および特定保健指導の定着と推進（社員および被扶養者向け年齢別適正健診プログラム実施） ③情報システムの活用および改修 ④コラボヘルスの推進

2021年度に実施した事業の効果

ジェネリック医薬品の利用促進

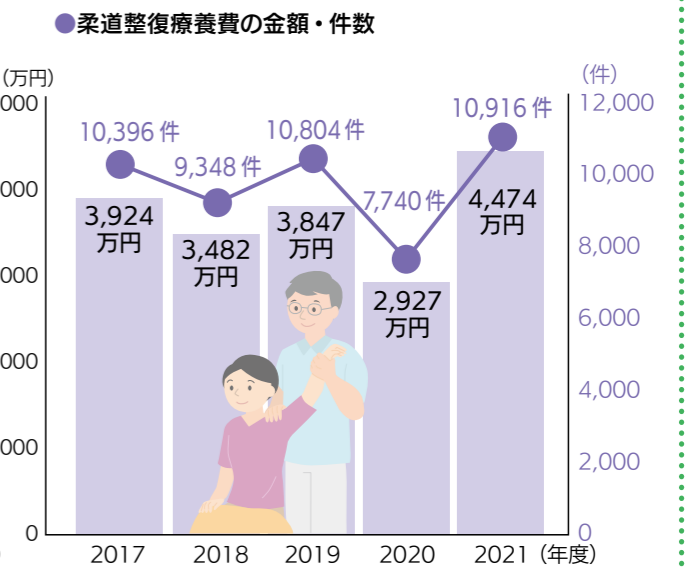
厚生労働省は2020年9月までに80%以上とする目標を掲げています。

当健保は2021年度末の時点で80.7%となり、目標を達成しました。



柔道整復療養費の適正化

接骨院・整骨院において、健康保険適用となる施術は限定されている事を理解いただくため、啓蒙活動を推進しています。また、柔道整復師等の不正請求を阻止すべく、請求書等の検証を厳しく行っています。



被保険者1人当たりで見ると...

保険料は **こ**う使われました

